

# 自民党政調「外国人観光客に対する医療PT」

## 経過

- 沖縄県医師会より外国人観光客の増加による医療への影響について問題提起があり、現地視察後、2018年3月8日から4月27日まで、自民党政調「外国人観光客に対する医療プロジェクトチーム(PT)」が6回にわたり開催。外国人観光客急増による医療・宿泊業・旅行業の団体、保険会社、医療通訳やコーディネータ業務を行なっている会社などのヒアリングや政府・自治体の外国人観光客の医療に対する対応状況のヒアリングを行った。
- PTを通じ、窓口業務や入院に至るまでのマニュアル整備の必要性、多言語に対応する医療通訳養成の必要性、自由診療領域の診療価格の考え方の提示の必要性について認識、都道府県内に関係者が集う協議会の設置と国のサポートを謳った第一次提言をとりまとめた。

提言はこちら

自民党HP (<https://www.jimin.jp/news/policy/137317.html>)

## 提言の取扱い

- 提言は、5月10日に岸田政調会長出席の政調審議会です承。5月23日には菅内閣官房長官に提言書を手交。
- 政府において総理をトップとする閣僚級「健康・医療戦略推進本部」に「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」において、具体的な政策の取りまとめが行われている。
- また、政府の「骨太の方針」(2018年6月15日)にも明文で体制整備が謳われ、国の基幹産業として急成長している“観光立国”に資する医療提供体制の整備が加速度的に進められることが期待される。

### PT役員(一部)

座長 萩生田光一  
座長代行 丸川珠代  
幹事長 鶴保庸介  
幹事長代行 橋本岳  
事務局長 自見はなこ

観光立国の実現(経済財政運営と改革の基本方針2018、p33-34)

(略)外国人旅行者への対応を向上させるため、医療通訳の評価体制の構築や医療コーディネーターの養成など地域医療機関における外国人患者受入れ体制の構築、キャッシュレス環境の整備、多言語対応やトイレの洋式化、相談窓口の整備などに取り組む。誰もが安全・安心に利用可能な宿泊施設の提供を促進するため、バリアフリー化や耐震化などの取組を進める。



2018年5月23日萩生田光一座長と菅内閣官房長官手交

Sharp rise in foreign visitors also puts pressure on hospitals



The Japan News, 2018. 5. 16

(自見はなこ事務所作成)